

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 (購読料郵税共) 年額8,000円



TOTO
 きれいな除菌水のチカラで、
 毎回手間なし除菌。
 2017年8月発売 | NEW
NEOREST
 詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

最先端の新製品・新技術をアピール

東管 過去最大規模で設備総合展盛況

「すばらしい地球・限りある資源・大切にしよう自然の恵み」をテーマに八月一日から三日間、有明の東京ビッグサイトで開催された第四十九回管工機材・設備総合展は、一万六千八百八十六名を集めて大盛況のうちに開幕した。環境・エネルギー、リフォーム・中古住宅流通、安全・安心などが成長分野として注目される中で時代の最先端を行く新製品・新技術を一堂にアピール。出展百五十七社・三百四十小間の過去最大規模で活発な情報交換を繰り返した。



今回の設備総合展は東一京管工機材商業協同組合（橋本政昭理事長）を主体とする五団体が共催。企業・団体が創意工夫を凝らした一押し製品・技術が一堂に集い、熱い注目を集めた。初日の一日は、プラニングの植竹深雪さんの司会で開会式が行われた。冒頭、倉地順

健全な水循環の大切さ発信

水の日の記念行事「水を考えるつどい」を開催

政府の水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会の主催による第四十一回「水の日の記念行事「水を考えるつどい」が八月一日、東京・内幸町のイノホールで開催された。石井啓



記念行事では主催者を代表して石井国交相がいさつに立ち「水は人間の営みの基礎として尊い恵みをもたらす一方で、洪水・濁水などの災害ももたらす。本日のつどいが水の役割、重要性、尊さを理解する一助となるよう期待する」と述べた。また佐藤伸朗東京都都市整備局理事が小池百子東京都知事あいさつを代読し、虫明功臣水の週間実行委員会会長がいさつした。

このあと全日本中学生水の作文コンクール表彰式が行われ、大西一史熊本市長が「熊本地震から学んだこと・未来へつなぐ生命(いのち)の地下水」と題して講演。パネルディスカッションでは黒川純一良内閣官房水循環政策本部事務局長や有識者が活発な意見交換を繰り返した。

合展実行委員長が「出展小間は過去最大となり、皆さまの協力にたいへん感謝している。出展者にはお客さま目線でわかりやすく展示していただき、より多くのご来場を期待している」と開会あいさつを述べた。続いて、橋本理事長が主権者を代表してあいさつに立ち「わが業界では政府が成長分野として掲げる環境・エネルギー、リフォーム・中古住宅流通、健康・快適・安全・安心、グローバル化、地域活性化、IT活用などに積極的に取り組んでいる。工・製・販が一体となり、ユーザーへより良い製品を届けることが重要だ。本総合展では最先端技術を集めた優れた製品群を幅広く紹介する。販路開拓などの活発な情報交換の場として活用してもらいたい」と述べ、積極的な協力を呼びかけた。来賓あいさつでは小寺裕之東京都産業労働局商工部経営支援課長が「環境と調和したスマートエネルギーを活用した都市

づくり」に皆さまの技術が不可欠だ、佐藤章東京都管工機材工業組合理事長が「業界の一大イベントとなつている本総合展を対話の場として連携を深め、共に盛り上げていきたい」とエールを送った。このあと、橋本理事長、倉地実行委員長、小泉久則一般社団法人全国管工機材商業連合会会長、小寺経営支援課長、松田英行全国管工事業協同組合連合会副会長、佐藤理事長、中村善典一般社団法人日本バルブ工業会会長、長澤徹一般社団法人東京空調衛生工業会専務理事らで一斉にテープカットを行い、華やかに開幕した。

2017小泉サマーセール

期間 4月21日 ▶ 9月20日



~ KOIZUMI SPECIAL Ver. ~
石川きゆり
 コンサート
 艶やかな歌声と心震わせる名曲の数々！
 45周年の軌跡を詰め込んだ
 いずみ会オリジナルステージ！

いずみ会合同研修会
 10月23日(月)~10月28日(土)
 今年の合同研修会は新潟県越後湯沢温泉です。
 ●合同研修会会場
 NASPA ニューオータニ
 ●チャリティー大抽選会
 ●工場見学
 ●税務・法律相談
講演会
 講師 **やました ひでこ**さん
「断・捨・離」
 ~日々はごきげんに生きる知恵~
 人・街・未来へ

毎年好評の 海外ご優待旅行

- 美しき「ヘルシンキ」と華麗な街「サンクトペテルブルグ」
9日間
- 癒しのアジアンリゾート・セブ
5日間
- 楽園リゾートステイ沖縄
3日間